

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 信成会 放課後等デイサービス ふるさとの森 ひろば			公表日	令和 7年 2月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・日によって利用児さんの状態も異なるため、活動内容の工夫や過ごしやすさを工夫している。また、個別支援を行うときは、他事業所からサポートをもらって支援にあたっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・支援員が状況に応じて工夫して環境整備しながら対応している。	・トイレのバリアフリー化や室内の段差をなくす等して解消させた方が良いため、改善に努めたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・個室の使用やパーテーション等を用いて必要に応じた環境設定を行うことで対応している。	・長期休みや休日開所した際は、多くのお子さんが利用される複数グループや個別支援の環境にはうまく適応できていない部分がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・集団が苦手なお子さんやパニック状態になったお子さんに対しては、個別の部屋を活用して配慮するようにしている。	・騒音を遮断できる空間はないため、音に過敏なお子さんが落ち着いて過ごせる環境設定を工夫したい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・法人会議や事業所間会議やミーティングを実施することで取り組んでいる。	・営業時間の合間で行っているため、検討会の仕方を工夫したい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者アンケートの集計結果と改善点をホームページに公表している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・発発及び放課後等デイサービスが集まる会議を毎月開催し、職員からの意見を集約する機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・法人の第三者委員が来園し、支援の現場を視察していただいている。	・定期的な視察を計画、実施できるようにしていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・午前中の研修やサブスクリプションを活用しての研修に取り組んでいる。	・研修時間と営業時間が重なる場合の研修参加は難しい。 ・外部講師を招いて職員に対しての研修も行ってほしいが、なかなかできていない。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・今年度支援プログラムを作成した。	・令和7年2月中に公表予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・アセスメントシートを用いたり、保護者の方とお子さんの様子について情報共有を行っている。	・保護者の方により分かりやすく、より適切な内容、工夫した支援計画を作成できるようにする。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ミーティング時に個別の課題や支援方法等について話し合い、計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・ミーティング時に個別の課題や支援方法等について話し合い、計画を作成して支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・日誌を記録することやアセスメントシートを用いることで変化等を比較できるようにしている。	・ツールはあるが、支援の難しいお子さんへの反映に上手く活用できていない部分もあるため、分析して活用出来るように努めたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・移行支援については、法人内のB型事業所と連携を図りながら就労体験等を組み込むようにしている。	・保護者の方の意向や適切な支援方法を幅広く取り入れられるよう努力が必要。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・様々な職員が計画し、職員間で意見を出し合うことで内容が偏らないよう工夫している。	・より専門的な支援の充実が図れるように努めたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節に応じた活動内容も組み込むようにしたり、活動内容をグループごとに分けて計画している。	・小集団で取り組める内容のプログラムを充実させられよう努めたい。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・平日利用日はミーティングを行っている。	・長期休みや休日開所日にミーティングを行うことは難しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・送迎が早く済んだ際や翌日のミーティング時に行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・担任から引き継いだ学校での様子、登園してから帰宅する前での様子を日誌として記録している。その記録をもとにモニタリングや支援計画作成時に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・相談員とのモニタリングを定期的に行うようにしている。また、必要時には計画の見直しも行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		・複数の基本活動を組み込んだ活動計画を作成している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・余暇時間等でやりたいこと、遊びたい玩具等、利用児さんに選んでもらっている。また、定期的に玩具の入れ替えもやっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・各会議には主任や児童発達管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・学校、併用事業所、相談員、自治体とは行っている。地域の事業所連絡会へも参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・年間行事計画の交換や行事案内プリントの交換等を行っている。また、毎月の利用予定児童の共有を行って対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・同法人内での就労B型事業所とは連携している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・同法人内の普通学校対象の放デイとは交流の場を設けている。	・法人内の行事等を通して関わりを持てるようにしていけたら良いと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・代表者が市の事業所連絡会や子ども支援部会へ参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・ご自宅へお送りした際、利用時の様子や活動でできるようになったこと、学校で担任から引き継いだ内容をお伝えしている。また、保護者の方からも様子をお聞きして情報共有させていただいている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・他機関の研修案内等は行っているが、事業所内では行っていない。 ・保護者の方も一緒に研修会を行えたらと思うが実施できていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に児童発達責任者ができるだけ丁寧にお伝えできるようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・ご家族の意思を確認し合い、支援内容に反映するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・担当者会議の際や面談時に計画についての説明を行って同意をいただけるようにしている。	・保護者の方により分かりやすく、より丁寧な説明ができるよう努めたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・緊急的なご利用相談やお子さんの様子についての相談も対応できるようにしている。	・気軽に相談できる環境づくりに努めて、ゆっくり相談や情報交換できる機会も設けられるよう努めたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・毎年、法人全体での保護者説明会の案内、開催を行っている。また、法人行事への参加を呼び掛けている。	・保護者の方同士の交流の場を設けられるようにしたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月事業所のお便りを作成してお渡ししている。また、Instagramも活用して保護者の方に同意を得たうえで活動の様子等を配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・お便りやInstagramに掲載しても良いか承諾書をいただいたうえで、発信する前には複数職員で確認を行って掲載させていただいている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・ジェスチャーやイラストカード等を用いて意思疎通を図っている。保護者の方へは、事業所携帯を用いて情報伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域文化祭へ作品を出展して活動内容の案内も掲示している。また、地域のフェスタにもステージ参加した。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各災害に備えたマニュアルを作成し、年5回の避難訓練も実施し、消防署立ち合いでの訓練も行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・法人全体で業務継続計画（BCP）を策定している。年5回の避難訓練も実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・保護者の方から事前に情報を伝えていただき、服薬が必要なお子様については薬と処方箋をお預かりしている。また、てんかん発作が起きた際の対応について研修を受けるようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者の方に食物アレルギーについて確認しているが、今年度該当者はおらず。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・各災害に備えたマニュアルを作成し、年5回の避難訓練も実施し、消防署立ち合いでの訓練も行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・各マニュアルは作成しているが、保護者の方への周知は不十分である。	・保護者説明会のなかで説明する機会を設けたり、担当者会議の際に資料を配布してお伝えするようにしたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・送迎後にヒヤリハット案件を振り返り、改善方法等を話し合っている。それを記録として残して会議でも報告して共有している。	・事前に想定される事故やトラブルについて、話し合える機会も設けて対応していきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・法人全体で虐待防止委員会を開催している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・契約の際に身体拘束についての説明を行い、保護者の方に同意を得ている。		